

カメラの設置と制御が、柔軟に使いやすく進化



アドバス リモート雲台 ADVAS-PT1

DOUBLE RAW-PHOTOGRAPHY 吉澤 士郎

2月号でレビューした、リモート雲台「ADVAS-PT1」に改良版が登場したというので、さっそく試用させてもらった。

ユーザーの声を反映させた改良

主な改良点は、カメラを取り付けるアングル部分が、固定されたL型のプレートから自由度の高いセパレート式になり、複数をネジ穴を使い、より細かなポジションの設定ができるようになった点(写真1)。また、従来はカメラのモニターを開いた状態での取り付けができなかったのだが(これまでは受注で改良対応していた)、新ファームウェアと内部プログラム更新により、180°反転させてモニターを開いた状態でも取り付けできるようになったこと、そして駆動トルクが約20%アップしている点である。

制御用アプリケーションの「Control PT」(Windows版のみ)もVer.1.3にバージョンアップした。以前のバージョンでは、プリセットポジションの表示は、1~16の数字だけで変えられなかったが、全角4文字までの名称表示ができるようになっている。また選択しているプリセットポジションが赤く表示され、わかりやすくなった。

さらにPCを介してUSB接続の汎用ゲームコントロ

ーラーの接続に対応し、ジョイスティックによる操作が可能になっている(写真2)。

なお、ADVAS-PT1の既存ユーザーは、セパレート型金具への変更と内部プログラムの更新を無償で受けられるそうだ。またControl PT Ver.1.3もダウンロードで提供される。

カメラとの干渉が減少

アングル部分のセパレート化だが、アングル取り付け用に多くのネジ穴が設定されたので、カメラに合わせているようなポジションで取り付けが可能になった。以前は、小型ビデオカメラを使用している、大きいサイズのバッテリーを装着していると、ティルト時に雲台部分にぶつかって動きが制限されてしまっていたが、上部の穴を使用することで、可動範囲が広がった。

ただ重くなっている状態で上部のネジ穴を使用すると、重心が高くなるためティルト動作でブレが生じやすい。撮影に影響のない範囲で低いネジ穴を選んで使用するほうが良いようである。同様のチェックをパン

写真1 アングル部分がセパレート式になり、複数のネジ穴から選んで固定することで細かなポジションの設定ができるようになった

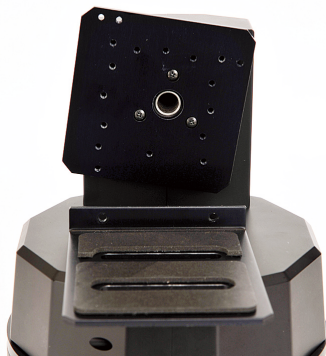


写真2 USB接続の汎用ゲームコントローラーと接続して制御できるようになった



写真3 カメラの重心に注意して取り付け

でも試したが、こちらはかなり速い速度でないかぎり、プレートの高さでブレの違いはなかった。ADVAS-PT1をスマートに使うためには、なるべくカメラの全長を短くし、カメラの重心が低くなるよう取り付けるのがバランスが取れて良いようだ。

今回搭載したカメラは、キヤノン iVIZ HF S21 (Sバッテリー付きで520g)、ワイドコンバージョンレンズ(335g)を付けた状態でも制限範囲内の質量ではあるが、カメラの三脚ネジ穴より重心が前になってしまうため、プレートの最後部に取り付けすることでバランスを取った(写真3)。

プリセットに文字表記

制御用PCとの接続だが、このADVAS-PT1はシリアル接続に加えてLAN接続できるのが特徴だ。IPアドレスが設定されているので、すでに接続されている機器とアドレスがダブらないようにすれば、既存のLANの一部に簡単に組み込める。撮影場所がLANの配線が整った環境であれば、設置のための手間もかなり楽になるだろう。

制御用アプリケーション「Control PT」は、前述のようにプリセットポジションに全角4文字(半角8文字)までのラベル設定が可能になり、選択しているポジションのボタン枠が赤く囲われて、どのポジションが選択中なのかたいへんわかりやすくなった(図1、2)。

ジョイスティックによる直感的操作

ゲームなどに使用される汎用のゲームコントローラー(Windows標準ドライバーで動作可能なモノ)を使えるようになったことは、今回の新機能の大きな特徴である。このコントローラーの設定もControl PTで行う。設定できるのは、コントローラーのジョイスティックまたは十字ボタン/バーとボタンで、ジョイス

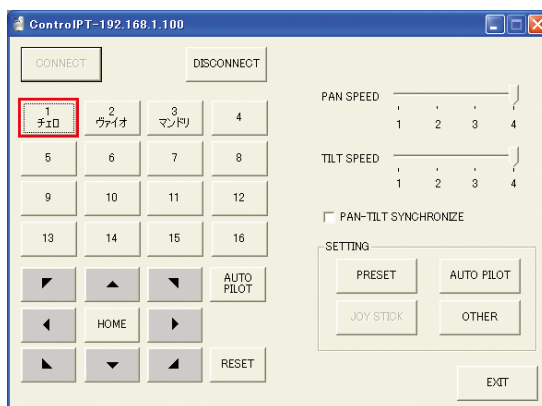
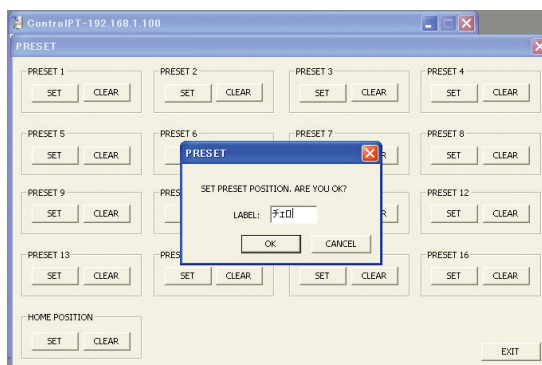


図1、2 全角4文字までの名称表示ができ、選択しているプリセットポジションが赤く表示され、わかりやすくなった

ティックまたは十字ボタン/バーにはパンとティルトが、ボタンには、PAN SPEED1~4、TILT SPEED1~4、HOME POSIRION、PRESET1~8の中から割り当てできる。設定操作はプルダウンメニューからの選択で、簡単に行える。

なお、前回お借りした際に、1つのControl PTで複数台のADVAS-PT1が制御できるようになる予定とも聞いていたが、これは未対応とのこと。ただ、1台のPCでControl PTを複数起動させて、複数台のADVAS-PT1を制御することは可能なので、実際の運用ではそれで対応できるだろう。

今回借用したゲームコントローラーはジョイスティックタイプのものだが、操作はゲームで軽飛行機の操縦桿を操作するような感覚で、PC上でのマウス操作に比べて直感的であり、非常にわかりやすかった。

前回のレポートから半年でこのような改良がされたのは、やはり技術者中心に構成された会社ならではのレスポンスの良さだろうか。

価格：オープン(オンラインショップ直販価格)；¥29万9250(税込) 発売：2010年6月1日 問い合わせ先：アドバス 045-478-6781 URL：http://www.advas.jp